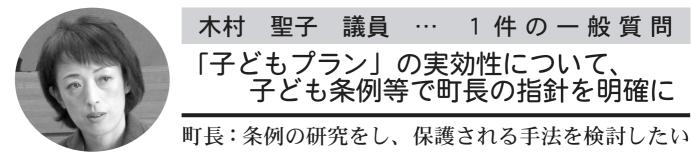
1 7	No. 167	Ľ	亡古	い議会	-
------------	---------	---	----	-----	---



育 一 時 町長	か機体化事織の行が機②の。。 能的を業間弊政っ能子か	調とにびに①性	ἑと栄こぐ素と力の性 こいえのたでしあ周に ★村
病預 児か所い	をに進にの害経てはど	はてし学たのこ	たの そこの子どもプランの出題。 その子どもプランの出題。 ためにも喫緊の課題。 たかがに重要には、 をして選ばれる重要なして が、町長に実効の にもの にもの にを の子ども であり、 人口減少を 防 に たの として 、 子ども の 子ども の 子ども た の 子ども の 子ども の 子ども た の 子ども の 子ども た の 子ども の 子ど も の 子ど も の 子ど も の で あ の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の に の の の に ろ の の の の
保り認わ 育事定ゆ	実改にある。数間	うるア児、ライ	、 が 常 も や 、 に や 、 に や 、 に つ 、 の 、 に つ 、 の 、 に つ 、 、 に つ 、 の 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
F 争足ゆな業こるど、ど統	しては、 と 家 か す の 肉 ひ む と 業 め す で 谷 課 こ	レかン単税/ 一時こケの学を	
平延も合	てをの務るよう皆にもいい図るのあう縦計に施	てニーる児成	長要ンの減重い備と一のににの課少要自はものコ
成長園保 31保、育	くりが効״`割画ま設の、具率、組りのたや	い 「 家 重 す く ズ を 庭 及 る	実 な 出 題 を な 治 、 た 実 子 効 る 来 。 防 要 体 魅 ち 効 ど



敕	備が	望	ŧ	ħ.	る	归	啬	館
πE	VHI /J -	<u> </u>	5	10	Š	ノレ	æ	ᄃ

	違うというようなことれせ先や名課の考え方	設によっ	針にある	宮をして	とわかり	교	進められ	な対応、	ろな課に	もに関す	<i>د</i> ،	か十分に生かさ	少なく、町民	に雨の日や冬の	る保護者が沢山	世帯では不安を	は非常に多く、	たされていない	学生低学年の預かりが	受け入れ態勢で
--	----------------------	------	------	------	------	---	------	------	------	------	------------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	------------	---------

行している。そこには子権利に関する条例」を施る士別市では「子どもののとつであり、	町長 たな方策を含め不十分である できるのか考えういるが学年 も含めて、考え方や利用しながら対策を といて、考え方や利用したい。 があるのである たるよう、推 でたな方策をとしているが を たな方策を と たいて、考えたい。 が たる が た た た た た た な 方策を た る の か 考 た の か 考 え た の か 考 え の か 考 え の か 考 え の が ち に い て 、 考 え の か 考 え の が ち に い の が ち た の が ち の が ち の が ち の が ち に い の か ち た の が ろ の が ち の が の た の た の が ろ (た の か ち の か ち の が の の の た の た の が の の の の た の た の の の の	考えているのか。 考えているのか。 が起こっており、町民の りと打ち出すことが必 でしていると思 の がと思うがどのように の よたことをしていると思 の と れたことをしていると思 の た の よ の に の た の た の た の た の た の た の た の た の た
--	---	--